

留学だより Ver2

皆さん、お久しぶりです。

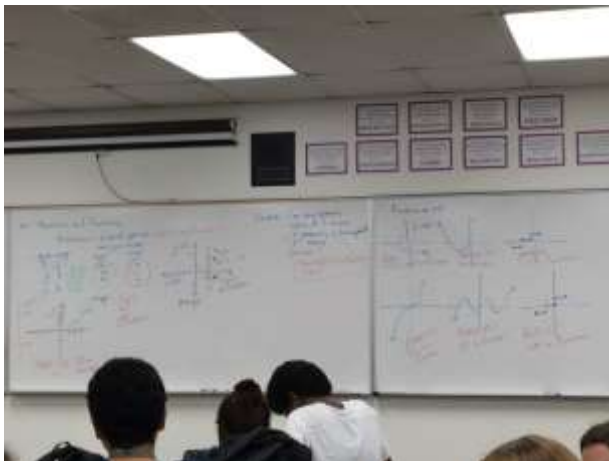
日本はこのごろ気温が低くなっているようですが、こちらは未だに35°C程度あり、暑い日が続いています。

さて、今回は、前回割愛した授業についてと、私の留学生活について、少しだけお伝えしたいと思います。

前回は触れましたが、私の通う North Canyon High School は7時30分に1限が始まり、14時10分に6限の授業が終わります。

また、日本との大きな違いとして、時間割が挙げられます。こちらでは生徒一人一人に個別の時間割が与えられ、それに沿って各教科の教室を回る形式をとっています。よって、日本でいう「HR 教室」というものは存在せず、連絡は4限終了後、昼食前の放送によって行われます。

右の写真は英語の授業の様子です。基本、授業は教師がスライドを用いて説明を行い、生徒はノートをとります。また、小テストや、課題を授業を通してやることもあります。余談ですが、教師によっては小テスト中のノートの参照を許可している場合もあります。



授業の中でも特筆すべきは数学でしょう。というのも、カリキュラムの違いはあれど、あまりにも簡単すぎるのです。実際、私は数学のクラスを変更しましたが、未だに中1、中2あたりの内容を学習しています。また、数学の授業では電卓を用いた内容もあり、興味深かったです。

なお、先ほど説明した通り、生徒一人一人に違う時間割が与えられますから、授業が自分のレベルに合わなかったり、別の選択科目を受けたかったりする場合は、クラスを変更することも可能です。

留学中、個人的に気に入っているものの一つに、成績があります（進級に関わりますし、単純に後述のシステムにはまってしまいました）。そのような場合、日本の学校では、提出物やテストの点数からだいたいの成績を予測するか、学期末に渡される成績表を待たなければいけません。私の通う学区では、成績をインターネット上で閲覧することができます。



これが実際の画面になります。課題ごとの満点と、自分がどのくらい得点したかの値・パーセンテージが表示されます。また、それに対して、A から D、そして F の五段階評価が絶対的につけられます。学期終わりに成績がどのように処理されるかはまだ分かりませんが、このように自分が今どれくらいの成績をとっているのかが分かるのは、個人的にメリットに感じます。

他にも、課題をインターネット上で参照したり提出したりすることもでき、日本の学校よりも、IT 技術を活用している印象を受けます。

それでは、最後に今月見つけた面白いものを紹介して終わりにしたいと思います。

それがこちらです。日本でこんな素晴らしい皮肉が見られるでしょうか。

アメリカでは、ニュース番組など、自分（テレビ番組では局として）の意見をはっきり表現していると感じます。この商品もその一例でしょう。また、アリゾナ州は（と言っても私の行動範囲内ですが）、大統領に反対する方が多いような気がします。

それでは、また来月お会いしましょう。では。



板橋